

この案内は2017年産米の検査が終了した2017年11月に作成しました。
今後、追加の情報がある場合は、ホームページなどでお知らせします。

検査結果（本お知らせ）は、贈答用のお米・お餅にも同封して贈り先様へお届けしております。

放射能検査結果について（2017年）

放射能検査の結果、今年も放射性物質は不検出となりました。

今年も新米の収穫後に外部機関に委託し放射能検査を行いました。

その結果、放射性物質は不検出でした。

安心してお召し上がりいただける2017年産米をお届け致します。

黒瀬農舎でのこれまでの取り組みや検査状況の詳細、今後の対応は以下の通りです。

■昨年までの状況

2011年以降、黒瀬農舎では毎年収穫したお米や米ぬかの自主検査（検出限界1 Bq/kg 検体数42検体）を行っていますが、すべて不検出です。

秋田県が毎年行う全市町村の玄米の検査でも、これまですべて不検出でした。したがって秋田県内でお米の放射能が検出されたことはありません。

■今年の放射能検査について

これまで秋田県内の米での放射能の検出が一度もなかったことから、秋田県による放射能検査は昨年産のお米で終了しておりますが、黒瀬農舎では今年度も収穫したお米に関して引き続き自主的な検査を実施します。

なお、今年度から肥料などの資材の検査は、新たな資材を使用した際や資材の原料調達地が変更となった場合に検査を行うこととしています。

■今年収穫したお米

あきたこまち（3検体）、もち米（杵搗き切り餅原料）、古代米、ササニシキの計6検体で検査を行いすべて不検出でした。（検出限界 セシウム134, 137 各1Bq/kg）

■今後の取り組み

今後使用する有機肥料などの資材は、原材料の調達先の確認などを行い、必要に応じて放射能検査を行うことで汚染された資材の圃場への持ち込みを防ぎます。

■情報の公開

黒瀬農舎では、これまでも栽培方法などをできる限り公開し、お客様自身で情報を判断し、納得した上で購入頂けるように取り組んできました。

放射能問題でも同様に、できる限りの情報収集と開示を行います。今後、情報の更新があった際は、ホームページやお米に同封する通信などでお知らせ致します。

同位体研究所 放射能(核種)検査報告書				
依頼者名: ライスロッヂ大湯・黒瀬農舎 殿		結果報告日: 2017年10月2日		
検体名: 2017年産 あきたこまち 玄米01		報告書番号: RIN17/B008CRI		
検体特記事項: 検体名は依頼者記載		株式会社 同位体研究所 代表取締役 堀 達也 横浜市鶴見区東立寄 2-1-1 TEL:045-718-5457 FAX:045-718-5455		
検体量: >2kg		ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJIA L12-175) 放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)		
検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)				
分析結果: Ge定量!				
核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.7 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.6 Bq/kg
Cesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	
測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を測定した測定時定量下限値。 (検体量及び検体の核種状態により、定量下限値が変動する場合があります)				

放射能検査報告書（抜粋）



ライスロッヂ大湯

提携米・黒瀬農舎 黒瀬 友基

〒010-0445 秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4-7

TEL:0185-45-3088 FAX:0185-45-2887 mail:akita@kurose.com

http://www.kurose.com/

提携米 黒瀬農舎

検索

2017年産米のすべての検査報告書はホームページでご確認頂けます。

放射能(核種)検査報告書



放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッド大潟・黒瀬農舎 殿

結果報告日: 2017年10月6日

試料名 : 2017年産 あきたこまち 玄米02

報告書番号: RIN17JG006CPI

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 堀 美乃
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-702-1855

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 0.5 Bq/kgでの核種測定)

分析結果: Ge定量0.5

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値	検出下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.40	0.27
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.39	0.26
Caesium-137		ND	Bq/kg	0.50	0.33
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg		

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値



放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッド大潟・黒瀬農舎 殿

結果報告日: 2017年11月6日

試料名 : 2017年産 自然栽培ササニシキ 玄米

報告書番号: RIN17EB028CR1

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 堀 美乃
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-702-1855

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kgにての核種測定)

分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値



放射能(核種)検査報告書

59892

依頼者名: 阿部 淳 殿

結果報告日: 2017年10月6日

試料名 : 2017年産 あきたこまち 玄米

報告書番号: RIN17JG007CR1

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 堀 美乃
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-702-1855

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kgにての核種測定)

分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射線測定・分析」に基づき、グルメリウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。

結果注釈: 放射性ヨウ素(131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし



放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッド大潟・黒瀬農舎 殿

結果報告日: 2017年11月6日

試料名 : 2017年産 モチ米キヌノハダ 玄米

報告書番号: RIN17EB029CR1

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 堀 美乃
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-702-1855

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kgにての核種測定)

分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.6 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値



放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッド大潟・黒瀬農舎 殿

結果報告日: 2017年11月6日

試料名 : 2017年産 紫黒米朝雲 玄米

報告書番号: RIN17EB027CR1

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 堀 美乃
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-702-1855

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kgにての核種測定)

分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.7 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射線測定・分析」に基づき、グルメリウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。

結果注釈: 放射性ヨウ素(131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし

(注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の取扱いに一切関与しており、検体以外のいかなる製品に対しても、この分析結果を証明するものではありません。本分析結果報告書と弊社の許可状を無断で転載し、使用することを禁じます。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)

2017年10月~11月に行った 玄米の放射能検査結果報告書 (残り1部は1ページ目に掲載)

セシウム134・137の測定値はすべての検査結果で ND(Not Detected=不検出)でした。
(検出限界 各1Bq/kg以下)